

# 元教員らが住民監査請求

実教出版の高校日本史教科書をめぐり、東京都教育委員会が「使用は不適切」と都立高に通知したのは違法だとして、元都立高校教員らが17日、都監査委員に住民監査請求を起こした。教育委員の報酬返還などを求めた。

請求したのは高嶋伸欣・琉球大名名誉教授ら約300人。都教委は「請求書をまだ見ておらず、詳しいコメントはできないが、通知に問題は全くない」としている。

# 「都教委が違法な介入」

## 実教科書使用問題 市民団体が監査請求

国旗掲揚、国歌斉唱をめぐり「一部の自治体で公務員への強制の動きがある」と記載し

た実教出版の教科書の使用について、東京都教育委員会が来年度の高校日本史教科書の採択前に「不適切」との見解を出したのは教育現場への違法な介入として、市民団体「都教委を訴える会」のメンバーが十七日、都監査委員に住民監査請求した。教育委員の報酬の一部返還を求めたり、監査結果を踏まえ住民訴訟も起こす構えだ。

請求によると、実教版の教科書の記述を問題視した都教委の見解について、「教委による不当な支配で、学問の自由を定めた憲法や教育基本法に違反する」と指摘。教育委員六人の今年六月分の報酬の返還を求めている。同会によると、監査請求人はこの日までに三百二十七人に上った。

また都教委の見解は、特定の教科書使用を妨害した独禁法違反行為に当たるとして、同会の千百五十二人が同日、公正取引委員会に見解の取り消しを求めると発表した。